

京都教区時報

第127号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

特集・平和への歩み報告、ナイス



第1回 福音宣教推進全国大会

11月20日～23日

あなたは
誰のところ
何処へいくの
ろにでかけるの



11月15日(日)

京都教区創立50周年、教区一斉記念ミサ

(50周年の祝いは小教区あげて、修道者たちも小教区といっしょにミサに参加しましょう)

11月	20日(金) 週日(緑)	21日(土) 聖マリアの奉獻(記念・白)	22日(日) 王であるキリスト(祭日・白)	23日(月) 京都・横浜司教座聖堂獻堂記念
7時	6時30分 ミサ (主司式)田中健一司教	主日ミサ (主司式)白柳誠一司教		
8時	朝食	朝食	朝食	
9時	全体会 柱1 日本の社会とともに歩む教会 発題(4教区×10分)	分会 柱2 提案作成		総合的まとめ 提案のまとめと採択 ナイスアピール文採択 ナイスⅡへの準備と提案 司教団への公式答申
10時		全体会 柱2 分団報告 (4分団×10分)		司教団謝辞 閉会宣言
11時	分会 柱1 自己紹介 討議	休憩		(昼食)
12時		全体会 柱3 福音宣教をする教会 発題(4教区×10分)		休憩
13時	団会 (昼食) 分かち合い	(昼食) 分かち合い		ミサ
14時	スタッフ全体打ち合わせ 準備作業 聖靈來たり給え!	柱1 提案作成	柱3 討議	京都教区設立50周年祝賀 ナイスⅠ 感謝と奉獻 (主司式 W.A.カルー大司教) (地下にて同時にミサー森司教)
15時		休憩	休憩	
16時	全体会 柱1 分団報告 (4分団×10分)	会 柱3 提案作成		一般解散 記者会見
17時	参加者受付け 資料配布・宿案内	全体会 柱2 生活を通して育てられる信仰 発題(4教区×10分)	柱3 分団報告 (4分団×10分)	青年集会 スタッフ全体会 残務整理 清掃
18時	オリエンテーション 開会の挨拶 議長団 その他の選出 課題理解のためー 教区報告 分かち合い Q&A etc. (3管区4教区×20分)	(夕食)	全体会 まとめ中間報告	など
19時	全体会 柱2 討議	親睦会 各教区よりのエンターテイメント・とびいり・情報交換 etc.		
20時		夕の祈り	夕の祈り	
21時	夕の祈り	同左	同左	
22時	スタッフ会議 議長団・書記・司会者会議 まとめ係会			
23時	自由集会	自由集会	自由集会	

表紙のイメージ

とびらをあけて、さあ、出かけよう福音を学びに(カット・大島重良)

福音宣教推進全国会議の日程表(11月20日～23日)

—開かれた教会づくりを目指して—

全国大会では どのように話し合われるか

目前に迫ってきた全国会議。私たちの意見はどのように話し合われるのだろう。多くの信徒の皆さんが興味をお持ちのことと思います。そこで、教区時報では全国会議の話し合いの進め方を掲載することにしました。右ページの日程表とあわせてご覧下さい。

私たちの意見が活かされるよう活発な話し合いを期待しましょう。

テ　ー　マ	日：時間	発　題　者			
総論：話し合いの視点；生活から信仰を見直す(注参照)	第1日*夕	京	都	長	崎
柱1：社会とともに歩む教会	第2日*午前	福	岡	大	阪
柱2：生活の中で育てる信仰	第2日*夕	鹿	児	那	霸
柱3：福音宣教をする小教区	第3日*午前	広	島	名	古
		屋	大	松	分
				浦	和

【注】 総論の発題は、話し合いの視点を確認するためのものです。

「信仰と生活の遊離、教会と社会の遊離」という問題を、特に「生活から信仰を見直す、日本の社会の現実から、福音宣教のありかたを考える」という観点からとらえることを意識して発題していただきたいと思います。

発題の持ち時間は以下の通りです。

総論	4教区	各20分ずつ
柱1	4教区	各10分ずつ
柱2	4教区	各10分ずつ
柱3	4教区	各10分ずつ

各 柱 の 討 議	現状認識	具体的方策と福音的根拠・目的	③ 少数意見として削れないものはそれを書く欄 を設けています。 ④ 具体的方向を討議する時間を十分に確保する ため、①～②に1時間、③～④に1時間の配 分をしています。 ⑤ まとめのための書式を作成し記入します。 ⑥ 会議中の個人的な記録は認めていません。
	要 点		
	要 点	全国レベル	
	要 点	教区レベル	

各 柱 の 討 議	現状認識	具体的方策と福音的根拠・目的	③ 少数意見として削れないものはそれを書く欄 を設けています。 ④ 具体的方向を討議する時間を十分に確保する ため、①～②に1時間、③～④に1時間の配 分をしています。 ⑤ まとめのための書式を作成し記入します。 ⑥ 会議中の個人的な記録は認めていません。
	要 点		
	要 点	小教区レベル	

他にいろいろなよい方法もあるうかと思いますが、とりあえず第1回目は上記のように分団会を進行していただきたいと思います。

発題の仕方は

16教区(札幌、仙台、新潟、浦和、東京、横浜、
岩手、青森、福島、京都、大阪、広島、高知、福岡、大分、長崎、鹿児島、那覇)が各柱について分担して発題します。

発題は16教区から提出されたまとめて現状認識の発題を行います。この時、具体的提案まではしません。

分団会の進め方とまとめ方は

「外国人登録法問題」

について取り組む

三重県ブロック

8月9日津教会で平和の集いが開かれた。

午前9時教区統一平和祈願ミサではじまり、川崎市浅田教会の工ドワード・ブジヨストフスキ神父の指紋押捺拒否についての基調講演、昼食休憩時間を利用して指紋押捺拒否の映画を上映、午後は1時から3時まで自由討論を行なつた。フランス生れのボーランド人で日本の国文学の学士号を修得さ

れ一度拒否した押捺を撤回した体験をもつエドワード師の講演は人の心を打ち理解を深めた。師は、指紋押捺問題の賛否の問題ではなく弱い立場の人々の叫びを聞きその人達と共に歩まれたキリストの心を社会に知らせ正義を実現することである。足を踏まれた人が『イタイツ!』と叫んでいるが踏んでいる人は痛みを感じてない、そんな社会に愛を光をかけ事がキリスト者に課せられた使命であると結ばれた。

地区の行事としては30人程度の最低の参加数であったが討論は賛否両論があつて熱気のこもった雰囲気で進められたが、帰りにはみ

んなの顔にほほえみがもどり、平和は開かれた教会から始まることが強く感じた。

今が「戦前」に

ならないように

奈良県ブロック

奈良正平協では、8月9日京都

教区「平和への歩み」の参加行事として、反戦・平和映画会及び写真展を催しました。映画はビデオ版「にんげんをかえせ」20分と「ヒロシマ・ナガサキ」(46分)の2本立て、写真展は組写真「アウシュビツツ」、「ヒロシマ・ナガサキ」を展示しました。県下各小教区からの参加があり、特に第一回目の上映のあと約2時間にわたって参加者のわかちあいをもちました。戦争体験のある方からはその経験にもとづいての平和の重要さを、又戦争体験のない人々は映画や写真による追体験を通しての反戦のねがいを交流し合い、今、この現在が「戦前」のときにならないよう

「平和の歩み」は 具体的問題を 通して実現する

京都南部ブロック

京都教区が平和旬間の企画をもつようになって11年目、今年は教区50周年の多忙さの中で、南部の企画としては、7月26日に朴寿南さんの講演「エッセイ『人魚の恋と死』のヒロインをめぐって」と、広島市民による原爆絵画展、8月9日に小木曾美和子さんの講演、「平和に背をむける原発事業」と、平和行進、この二回しかもつことが出来なかつた。

朴さんは、子供の麻衣ちゃんが、日本名になることを泣いて願つた小学一年生の時から、自ら本名を名乗る四年生のころ、指紋押捺拒否に到るまでの経過を軸に、映画

「もうひとつヒロシマ」を作成

した思いなどを語って下さった。

小木曾さんは、ホンコンの反原発運動がキリスト者のリードによつていること、若狭の原発の事故、

放射性廃棄物のこと、名神を走る核燃料をのせたトラックのことなど話され、なんとしても原発を止めなければとり返しのつかないことになると訴えられた。その後円山公園まで平和行進を行つた。

その際、手にもつプラカードの訴えが具体的すぎる、「政治的」すぎるという意見もあつたが、実行委員としては「平和への歩み」は具体的な問題をとおしてしか実現しないことを確認し、これまでどおり、いろんな場でキリストが共に歩んでおられるであろうかたがたの話を聞いて学び、それをアビールしていくくという形式を続けていくことにした。

来年はもつと早くから、充分の人数で実行委を組んで、もつと多くの学びの場を設定していきたいと思う。



ヒロシマへ行つて

考えたこと

中学生広島平和巡礼

今年の広島巡礼は、中学生51名

とリーダー10名、それに団長の田中司教様（現地合流）も併せて総勢62名でまいりました。リーダーに初参加者が多く、担当司祭も初めての経験なので準備の足りない面もありましたが、神さまの助けもあって無事3日間の巡礼を終えました。

出発時の不手際で列車に乗り遅れたため、平和行進には今年も途中参加となつたのが残念です。また3日間、炎天下を教会から平和公園まで何度も往復するというハードスケジュールは、歩き慣れない中学生には大きな負担であつたことだと思います。

とにかく中学生も、リーダーもプログラムに追われて必死の3日間でしたが、感想文を見ると、参加した中学生に平和への意識が少しづつ芽生えているのを知り、うれしく思います。来年もより充実した巡礼を行いたいと思つております。

柳本

参加者の感想文集より

I なぜヒロシマに行きたいか

私は広島へ行くのは始めてです。でもいちおう広島のことは知っています。そのことを絵にたとえると、下描きの前の骨ぐみぐら

いだと思います。それとも、その前の「どこを描こうかな」というあたりだと思います。それで広島に行けば下絵が描けるあたりへ行けると思います。広島のことについて、いろいろするうちに下絵がかんせいすると思います。広島へは、あそびに行くわけではないのに私はどうしてもうかれてしまします。こんなので行つたらケガかなにかをしてしまいそうです。

II ヒロシマへ行つて感じたこと

今年は2度目の広島巡礼でしたが、ここにあの恐しい原爆が落ちたとされ、たくさんの人々が亡くなられてから42年もたつたというのが不思議な気がしました。去年、初めて資料館に入つた時は恐くて気持ち悪くて思わず目をそらしていましたが、本当のことな

いです。だから今年はこの自分の目でしっかりと見ました。体験者の方の原爆が落ちた時の状況や苦しむ人々の様子についての話から、今まで以上に原爆の恐しさを考えられました。平和を守るために私たち若い世代はしっかりと学び、考え、力を合わせて行動しないといけないと、ついうかれがちな自分が戦争のことがほとんどで、平和についてほんの少ししか勉強ができませんでした。戦争によつて

平和についていろいろと学びたいと思ったからです。小学校の時にも少し戦争について勉強しましたが、戦争のことがほとんどで、平和についてほんの少ししか勉強ができませんでした。戦争によつて

両親や兄弟などを失つた人たちの悲しみは私にはわかりません。だから実際に広島へ行き、平和など

徳川百合子

佐野あおい

司祭評議会定例会議報告

87年9月7日

審議事項

- (1) マリアの年について
マリアの年について司教教書が
だされています。また、それぞ
れの地区、小教区での取り組み
をだしあつた。
- (2) 在京都フィリピン人司牧計画
ヴァルデス師より説明がありま
した。
- (3) Srヨハンナ・パークについて
ビッテンゲル師より在日韓国人
の信徒の世話をために、Srヨハ
ンナ・パークを含めて、2~3
人が日本に来る可能性について
話されたが、Srヨハンナ・パー
クより返事がないため、今のと
ころ保留にされている。
- (4) 50周年行事について
9月23日(祝)奈良・京都南部ブロック
9月27日(日)京都北部ブロック
10月18日(日)三重ブロック
でそれぞれ記念行事が行われま
した。
- (5) 京都のラザロについて
聖式がローマでありました。
詳細は長崎16殉教者神のしもべ
達の横顔(ドミニコ会修道会発行)を教
区時報10月号「パン種」でお読
み下さい。

(6) 司祭・修道士研修会

- 9月14日~16日野外礼拝セントラ
ーにて行いました。内容はナイ
スのまとめを資料として話し合
いました。

(7) ガレロン師について

- ナドー師よりガレロン師につい
て報告があり、何回も入国管理
事務所からよばれていてどうな
るかわからないとのことでした。

お知らせ

外国人登録法問題とその背景に 関する「連続公開講座」

- 外登法問題と取り組む関西キリ
スト教代表者会議では1985年
の結成以来、関西を中心として外
登法の抜本的改正のために微力な
がら尽くしてまいりました。この
たび外登法問題がもつ広く深い日
本社会の課題を学んでいきたいと
思い左記のような連続講座を開設
することになりました。

申込み先 在日韓国基督教会館へ
△か申込み書で(当日、受付も可)
たび外登法問題がもつ広く深い日
本社会の課題を学んでいきたいと
思い左記のような連続講座を開設
することになりました。

月定献金報告

広報の日献金(5月24日)

965、180円

聖ペテロ聖座への献金(6月28日)

1、273、151円

御協力ありがとうございました。

第1期(1987年10月~1988年2月)	在日韓国・朝鮮人の	生活実態と諸問題
第1回 10月25日(日)PM3時~5時	家庭・「女性の生き様」	
第2回 11月29日(日)PM3時~5時	宗秋月氏(詩人)	
第3回 1月31日(日)PM3時~5時	在日韓国・朝鮮人社会構成会 文化・教育 趙博氏(関西大学)	

ノートルダム女学院奨学生 ノートルダム女学院奨学生

創立者 マザーテレサ・
ゲルハルディングガーラ奨学生

応募資格
1 カトリック信者で来年度
ノートルダム女学院高校で
学ぶ人

2 経済的事情のある人
応募期限 11月20日まで

申込み・問い合わせ先
206(231)1382(△での問い合わせは
△で遠慮下さい。△当日、会員で受け
付けします。)

場所 大阪カトリックセンター
〒541 大阪市東区北浜5-31-1
住友信託ビル7階
△06(231)1382(△での問い合わせは
△で遠慮下さい。△当日、会員で受け
付けします。)

受講料 1回500円
△06(231)1382(△での問い合わせは
△で遠慮下さい。△当日、会員で受け
付けします。)

事務局 日本聖公会大阪教区センター
連絡先 在日韓国基督教会館(KCC)
〒544 大阪市生野区中川西2-6-16
△06(231)6801

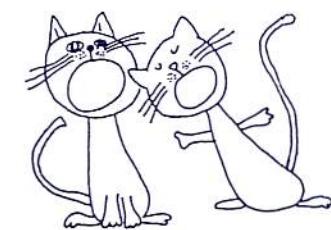


きょうと◆しが◆なら◆みえ

京都府南部信徒協議会 青年部

各小教区青年会の交流を目指して、南信協青年部は、各小教区青年会の活性化と相互交流を目指して今年の春から本格的に動きだしましたが、南部の22教会の青年会を統一させるのは、相当難しい仕事だと思っています。何故なら小教区によつては、青年会組織のないところもあり、普段あまり教会に来ない青年達もたくさんいるからです。これらの現状をどのようにとらえ、そして解決していくかは、暗中模索の状態です。

次に問題なのは、青年の規定が非常にあいまいだということがあげられます。果たして青年とは、年齢的に何歳から何歳までを指すのでしょうか。青年心理学では、青年期を12、3歳頃から22、3歳頃までを指しますが、これをそのままあてはめるわけにもいきません。



今日、改めてその意義を問い合わせます。このように青年期はなればならない大きな問題だと思います。このように青年期はなればならない時期に来ていると思います。

南信協青年部では、教区50周年における9月30日の記念集会での「青年の主張」を企画しました。秋には、各小教区の青年の交流の場をより親密にするために「大黙想会」を行なうつもりです。かたことばかりではなく、どんどん遊びを通じて同じキリストに結ばれた「仲間」づくりをしていくことが、20年後、教会の中心的な役割を担つた時に小教区同士の壁を越えた働きができると思います。

ナイス(福音宣教全国会議)はすぐ目前に迫り、すぐ手のとどきそうなところまで来ています。

何か結婚式の前の二人の様に、準備におおわらわ。家や調度品や、旅行の準備。儀式の準備に気を取られて、心の準備、相手の事をみつめるゆとり、そんなものを忘れてはならない。祈る心で、ひざまずく心で、はじめねばならない。

旅。そう旅なんです。そこにはいろんな事がつまつていて、言つていたらきりがないのでやめます。

そうともかく遠い旅、長いマラソンの出発点です。

人達に語ります。

ところでナイスはどうなんならぬと希望に満ちた若い恋

でしよう。勿論外的な事に心奪われてその忙しさにとらわれて心を失う様な事もないでしょ。

しっかりと社会をみつめ、教会をみつめ、信仰を見直し、生活を見直している事でしよう。

でも時々心配になります。本当に相手の事、互いにわかっているのかなって。同じ言葉を使って話

析りと希望を持つて未来の設計をしたいですね。家の組織を備える事も大切ですが、自分の生活を見直すこと、自分を神とするエゴイズムを解放する事。

一緒に旅に出たいです。道端の小さな花に気付き、賞でながらしていても全然違った事を話しても全然解っていない事だつて思つて

「ナイス」

あした結婚式です

ヴエリー「ナイス」

ちょっとあなたも

ちょっとわたしも(7)

るし……。

私、結婚する人にいつも言うのです。これは愛の出発点だよつて。つまり旅のはじまりだよ、完成

なんかじやないんだよ、つて。前途に何があるか解らない。だから人に敬虔に、謙虚にならねばならない。祈る心で、ひざまずく

心で、はじめねばならない。

旅。そう旅なんです。そこにはいろんな事がつまつていて、言ついたらきりがないのでやめます。

そうともかく遠い旅、長いマラソンの出発点です。

愛する事は大切だけれど、愛を本物にする謙虚さがいる。

謙虚さと言うのは愛をあたたかく包むものなんですね。

ナイスの話をしていた苦で

す。社会を愛・持つてありのまま、見ているでしようか、

析りと希望を持つて未来の設計を

したいですね。家の組織を備える事も大切ですが、自分の生活を見

直すこと、自分の生き方を改善すること、自分を神とするエゴイズムを解放する事。

一緒に旅に出たいです。道端の小さな花に気付き、賞でながらして

お知らせ

- 教区スケジュール**
- | | | |
|-----|---------------|------------------------|
| 11月 | 1日 | 諸聖人共同墓参 |
| | 3日(祝)京都ウォーカソン | 奈良教会バザー |
| | 8日 | 希望の家バザー |
| | 聖書週間行事 | |
| | 西陣納骨堂、秋季合同慰靈祭 | |
| | 11日 | 南信協婦人部追悼ミサ |
| | 13日 | S V P 京都中央理事会 |
| | 15日 | 親交会秋季例会 |
| | 16日 | 長崎への道巡礼(西陣教会→京都南部司祭集会) |
| | 17日 | 聖要会100周年記念式典 |
| | 20～23日 | 第1回福音宣教推進全国会議 |
| | 21～23日 | エンカウンター(宮津) |
| | 29日 | 桂教会堅信ミサ |
- ▼連続公開学習会にご参加下さい
- 日朝関係の歴史、在日韓国・朝鮮人差別について学びます。どちらでもいつからでもおこし下さい。
- 11月7日(土)夜7時半より
12月5日(土)夜7時半より
いずれも小山教会伝道館にて



聖書深読入門の集い

默想会のご案内

—アルフォンソ神父様と共に

神との出会いのひとときを

現在、滋賀県草津市に建設中の、学校法人聖パウロ学園、光泉中学、高等学校について誤解を避けるため、以下の点を公表いたします。

日時 11月14日(土)～15日(日)
場所 宇治カルメル会黙想の家
指導 奥村一郎神父
費用 5,000円
持ち物 聖書、筆記用具他

日時 12月5日(土)～6日(日)
場所 カロンデレードの聖ヨゼフ修道院津修道院
指導 アルフォンソ・ガレロン師
連絡先 078(851)2686
本村まで(夜8時以降)

日時 11月29日(日)PM3時～5時
場所 大阪カトリックセンター
〒54大阪市東区北浜5-31-1
住友信託ビル7階
受講料 500円(当日会場で受付します)

申し込み 11月27日(金)津修道院
かSrグレイス斎藤(京都市左京区下鴨中川原町110番地)0757810669まで
参加費 2,000円



第2回 文化・教育

▼外国人登録法問題と
その背景に関する

連続公開講座

日時 11月29日(日)PM3時～5時

場所 大阪カトリックセンター
〒54大阪市東区北浜5-31-1
住友信託ビル7階

(※電話での問い合わせはご遠慮下さい)

ナイスでは開門・開心を叫んでますね。それはベリーナイス。でも何のため、開いて入れるだけ、それとも出かけて行くために? 前者ではまだノットソーナイス。後者ではまだノットソーナイス。

在日韓国基督教會館(KCC)
〒54大阪市生野区中川西2-6-10
☎06(731)6801(当日受付可)

従つて、京都カトリック諸校(例えば、洛星、ノートルダム、聖母など)は同校と何ら関係がありません。なお、カトリック教会法は、教区長の許可なく、カトリック学校と称することを禁じています。

2、カトリック教会は同校の設立資金、土地の選定、購入方法について全く関知していないません。

宗 教 法 人 カトリック 京 都 司 教 区
代表役員(司教)田中健一
(い)